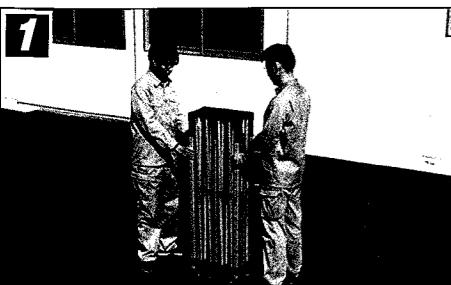


テントの組立て方法

※写真は「KA/8W」を例に説明しています。テントの大きさや形状に違いはあります。他の規格品も組立て手順は同じです。なお各部の名称は裏面「各部の名称」を参照してください。

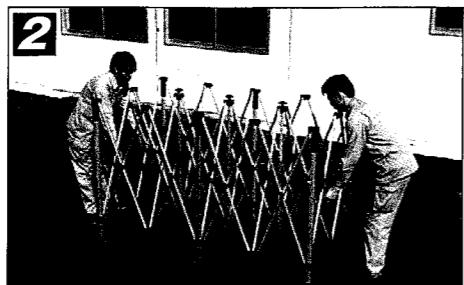


四隅のアウターレッグを持ち、少し浮かせながら左右に広げます。

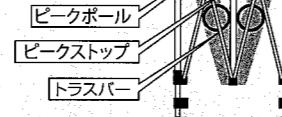
POINT!

組立は大人2人で行ってください。
それ以上の人数は必要ありません。

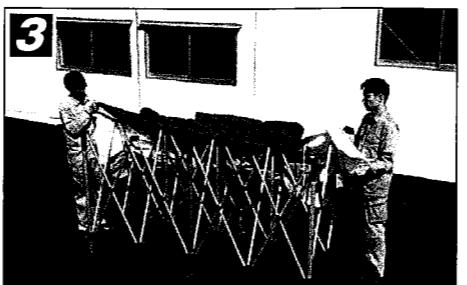
▲注意 フレームが引っ掛かっている場合がございますので、無理に広げないで下さい。



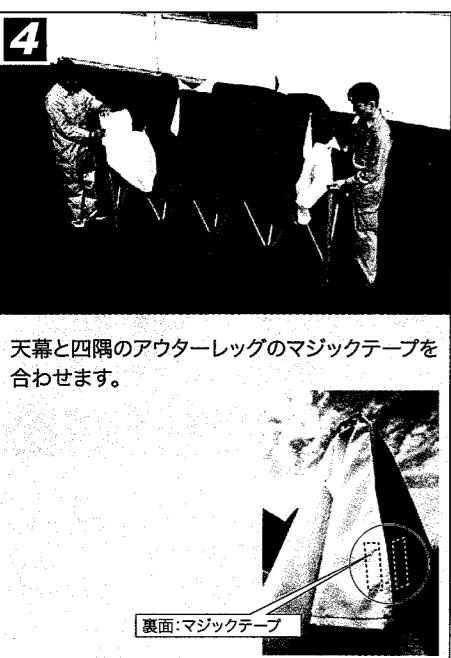
トランスバー下側のV字部分を持ち上げながら、外側に引っ張り、本体フレームを半ばまで広げます。



▲注意 ピークポールがピークストップから抜けていると、フレームは開きません。
差し込まれているのを確認して下さい。

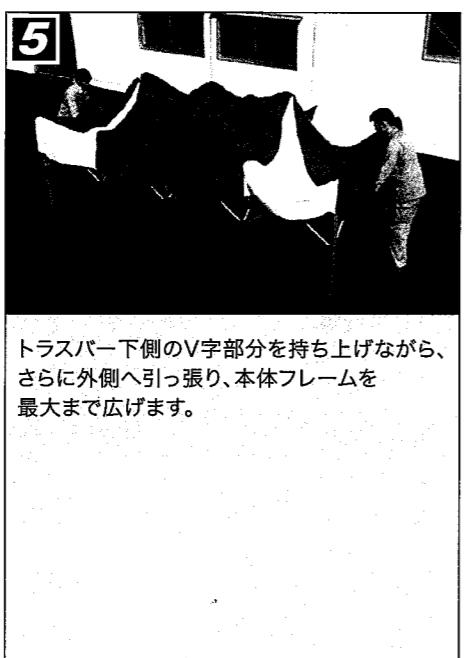


天幕を袋から出し、本体フレームにかぶせます。

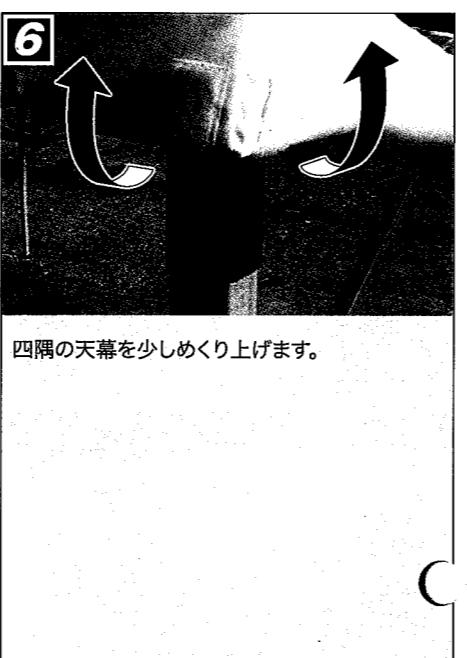


天幕と四隅のアウターレッグのマジックテープを合わせます。

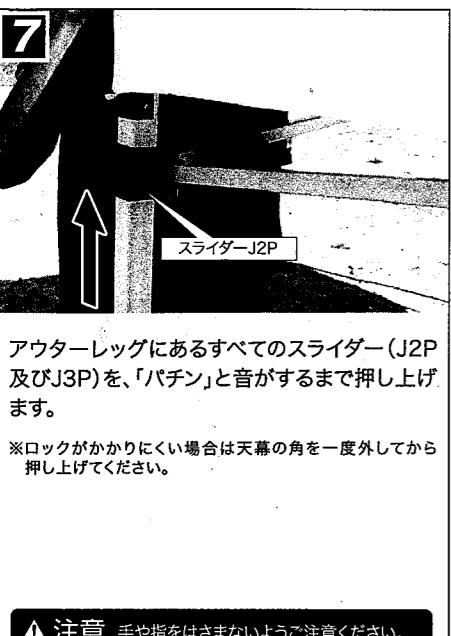
裏面:マジックテープ



トランスバー下側のV字部分を持ち上げながら、さらに外側へ引っ張り、本体フレームを最大まで広げます。



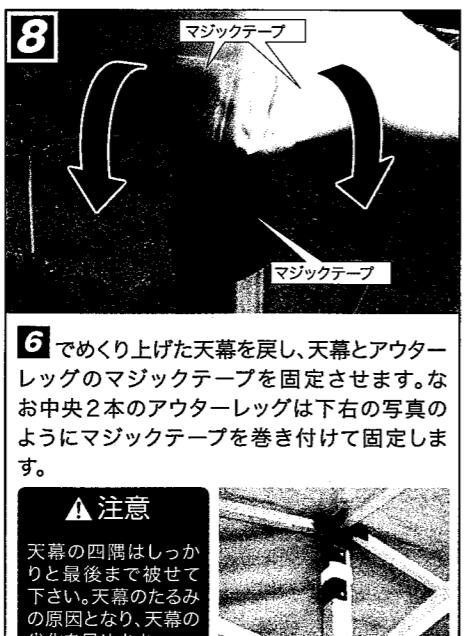
四隅の天幕を少しだけ上げます。



アウターレッグにあるすべてのスライダー(J2P及びJ3P)を、「パチン」と音がするまで押し上げます。

※ロックがかかりにくい場合は天幕の角を一度外してから押し上げて下さい。

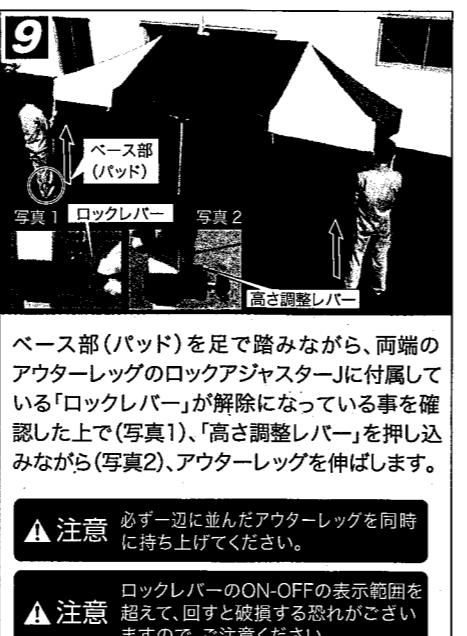
▲注意 手や指をはさまないようご注意ください。



6でめぐり上げた天幕を戻し、天幕とアウターレッグのマジックテープを固定させます。なお中央2本のアウターレッグは下右の写真のようにマジックテープを巻き付けて固定します。

▲注意

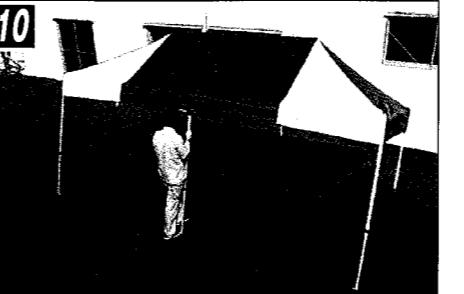
天幕の四隅はしっかりと最後まで被せて下さい。天幕のたるみの原因となり、天幕の劣化を早めます。



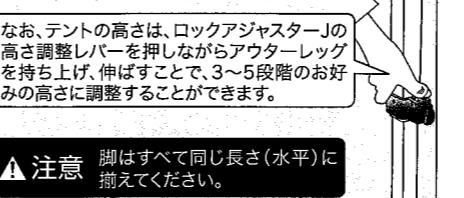
ベース部(パッド)を足で踏みながら、両端のアウターレッグのロックアジャスターJに付属している「ロックレバー」が解除になっている事を確認した上で(写真1)、「高さ調整レバー」を押し込みながら(写真2)、アウターレッグを伸ばします。

▲注意 必ず一辺に並んだアウターレッグを同時に持ち上げて下さい。

ロックレバーのON-OFFの表示範囲を超えて、回すと破損する恐れがありますので、ご注意ください。



反対側のアウターレッグも同様に伸ばします。
同じく中央のアウターレッグも伸ばします。

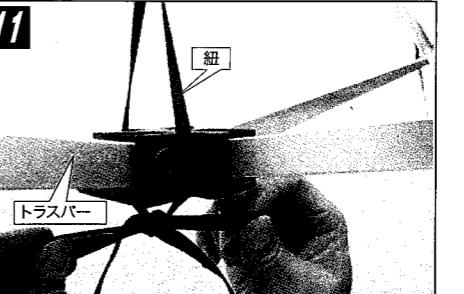


▲注意 脚はすべて同じ長さ(水平)に揃えてください。

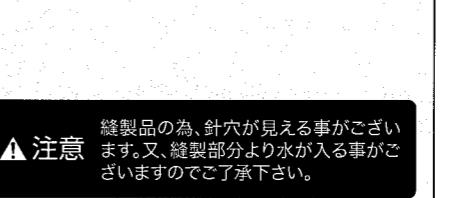
ここまで完成した時点で、次の事項を確認し、異常のある場合はテントのご使用を中止してください。
また対応につきましては、お求めになつた販売店へお問い合わせ下さい。

天幕が破れている、フレームが曲がっている等の異常のある箇所はないですか? ※なお、ボルトが緩んでいる場合は、付属の六角レンチで締め直してください。

- 天幕と本体フレームの、マジックテープの貼り付け具合は弱くないですか?
- 天幕はたるみなく「ピン」と張っていますか?雨水が溜まりそうではありませんか?
- 本体フレームの各ストッパーが、きちんと固定されていますか?

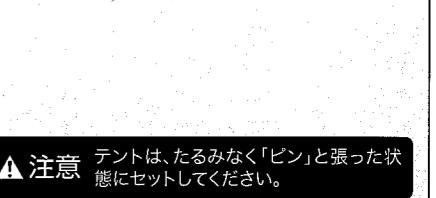
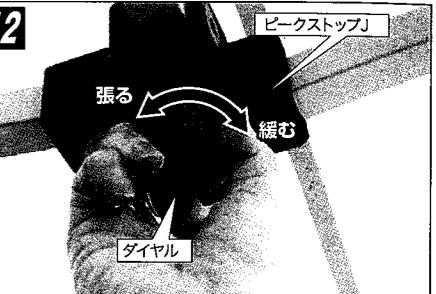


天幕の裏側についているすべての紐をトランスバーに結びつけます。



▲注意 縫製品の為、針穴が見える事がございます。又、縫製部分より水が入る事がございますのでご了承下さい。

▲注意 テントは、たるみなく「ピン」と張った状態にセットしてください。



▲注意 ピークストップの下についているダイヤルを回して、天幕の張り具合を調節します。

テントを固定する



●ロープを張るスペースがない場合
ロープを張れるだけのスペースが無い場合は、ベース部(パッド)の穴に、直接ペグをしっかりと打ち込みます。

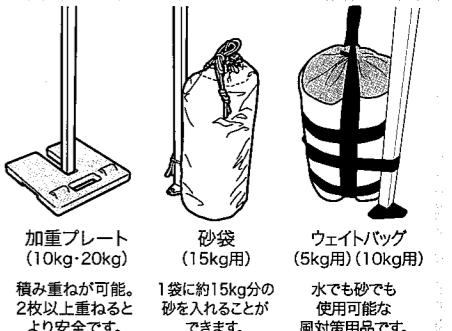
天幕の四隅にあるプラスチックの留め具にしっかりとロープを結び、ペグをテントの対角線上にしっかりと根元まで打ち込みます。

※四隅以外のアウターレッグには、ベース部の穴へ直接ペグを打ちます。

強風などに煽られ、固定したペグやロープ、ウエイトが外れてしまい事故が起る恐れがあります。
風対策用のウエイトを併用した場合でもけして過信はせず、悪天候時や天候の悪化が予想される場合、また突風が起こる可能性のある時は、テントの使用を中止してください。

●固い地面や風対策に…

地面が固くペグを使用できない場合、またペグとの併用で風対策用に、「加重プレート」「砂袋」「ウォーターウエイト」等の別売オプション品をご利用ください。

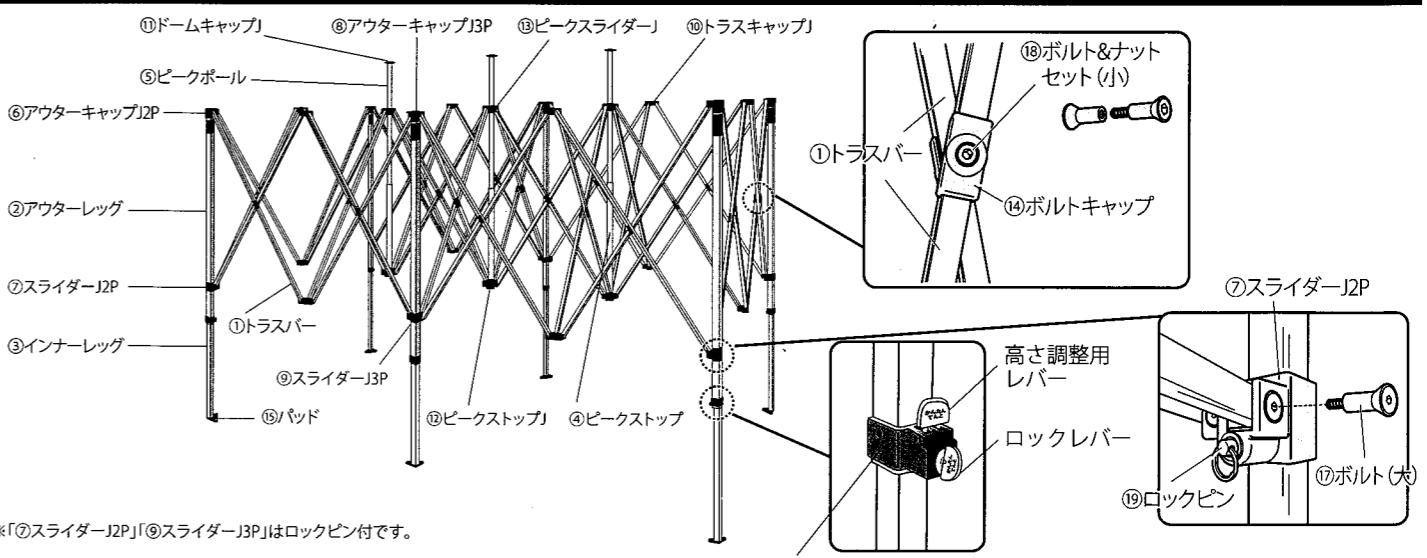


加重プレート(10kg・20kg)
積み重ねが可能。
2枚以上重ねるとより安全です。

砂袋(15kg用)
1袋に約15kg分の砂を入れることができます。

ウェイトバッグ(5kg用)(10kg用)
水でも砂でも使用可能な風対策用品です。

各部の名称



※⑦スライダーJ2P・⑨スライダーJ3Pはロックピン付です。